

栃身連研修会のご案内

■災害時高齢者生活支援講習

災害時に必要な知識や支援技術について
 [開催日時] 7月14日(月) 10:00~12:00
 [開催場所] とちぎ福祉プラザ2階 第1研修室
 [講師] 日本赤十字社栃木県支部派遣指導員

■障害者福祉サービス

障害者の暮らしを支援する福祉サービスについて
 [開催日時] 8月4日(月) 13:00~15:00
 [開催場所] とちぎ福祉プラザ2階 第2研修室
 [講師] 栃木県障害福祉課職員

■健康づくり講習

『元気でいきいき過ごすには』
 脳と身体の活性化について
 [開催日時] 9月29日(月) 13:30~15:00
 [開催場所] とちぎ福祉プラザ2階 第2研修室
 [講師] とちぎ健康づくりセンター派遣指導員

各市町身障会員の皆さまは所属の福祉会にお問い合わせのうえお申し込みください。

問 栃木県身体障害者福祉会連合会
 (TEL) 028-624-8408 (FAX) 028-624-8418

JRジパング倶楽部特別会員


身体障害者手帳により購入できる乗車券以外の急行券や特急券が2~3割引で購入できる制度です。

加入資格	身体障害者手帳をお持ちの方 男性60歳以上、女性55歳以上
年会費	1,350円
新規申込	入会申込書と身体障害者手帳のコピーは郵送、年会費は銀行振込でお願いしています。詳細はお問い合わせください。
更新申込	お手続きは年会費のお振込のみで完了です。

振込銀行名	支店名	口座番号	手数料 同一銀行間でのATM利用の場合
足利銀行	本店	普通 1666210	105円
栃木銀行	戸祭	普通 5426941	105円
ゆうちょ銀行	記号 10740	番号 21577851	ゆうちょ銀行口座間で送金の場合 平成26年9月30日まで手数料無料

お申込み・問合せ先

栃木県身体障害者福祉会連合会
 (TEL) 028-624-8408 (FAX) 028-624-8418

 この機関紙は
 赤い羽根共同募金配分金により発行しています

栃木県障害者保養センター 那珂川苑

那珂川苑は、障害者の皆さんが研修・レクリエーション及び家族旅行などに気軽に利用できる各種の設備を整え、保養の場として利用していただくもので、一般の方も利用できます。
 眼下には鮎で有名な那珂川の清流と遥かに白煙をなびかせる那須岳を始め高原山、日光連山などが一望できる丘陵地にあります。
 四季おりおりの変化に富んだ景観と、運動機能障害、神経症、疲労回復等によくきく温泉(別名美人の湯)に恵まれ山水の美を満喫できます。



◇料金案内

障害者	その他
5,000円~(4月~12月)	6,430円~(4月~12月)
4,800円~(1月~3月)	6,230円~(1月~3月)

*お一人様1泊2食付(消費税・入湯税込み)

◇入浴介助サービスを実施

◇リフト付大型バスによる送迎サービス

20名様以上のご利用からお申し込み可能、送迎は栃木県全域のほか、近接県についても範囲となります。

◇ご予約

障害者手帳をお持ちの方と介護保険による要支援要介護の判定を受けた方は、利用を希望される6か月前の1日から、一般の方は3か月前の1日からの申し込みです。

栃木県障害者保養センター 那珂川苑
 栃木県那須郡那珂川町小口1728
 (TEL) 0287-92-5511 (FAX) 0287-92-5513

障害者による書道・写真全国コンテスト

障害をもつ方々の文化・芸術活動の促進と技術の向上、またそれらの活動を通じた積極的な自己実現と社会参加の促進を目的に行われています。

[応募資格]

- ①「身体障害者手帳」「療養手帳」「精神障害者保健福祉手帳」のいずれかの交付を受けている方
- ② 難病による障害のある方
- ③ ①または②と同等であると主催者が認めた方

[募集内容]

書道部門	硬筆・毛筆	題材は自由
写真部門	フリーの部	題材は自由
	ポートレートの部	題材は人物
	携帯フォトの部	題材は自由
	四ツ切、ワイド四ツ切	
	デジタルカメラ作品はA4サイズ	

[応募締切] 平成26年9月19日(金)

[主催] 日本障害者リハビリテーション協会

[実施] 全国障害者総合福祉センター

[応募取りまとめ機関]

栃木県障害者社会参加推進センター
 宇都宮市若草1-10-6 (TEL) 028-678-4401

身身連

第116号

発行所

一般財団法人
栃県身体障害者福祉会連合会
宇都宮市若草1丁目10番6号
とちぎ福祉プラザ2階
発行人 表倉仁巳
TEL 028-624-8408
FAX 028-624-8418

第59回 日本身体障害者福祉大会 〈しまね大会〉

大会スローガン

- 障害者権利条約の理解を深めよう
- 障害者団体育成のための支援制度を促進させよう



平成26年5月23日、島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」において、日身連に所属する全国各地道府県及び政令指定都市の身体障害者団体が一堂に会し、平成26年度の活動方針を決定するとともに、今後の障害者施策について協議し、未来を見据えた障害者の自立と社会参加を積極的に展開し、発展させ、福祉の増進を図る目的で開催されました。

栃木県からは各地域福祉会等の皆さま37名の参加がありました。大会前日の22日に開催された日身連評議員会及び政策協議には表倉仁巳会長が出席しました。

なお、今大会において、身身連監事であります宇都宮市の中村富頼氏が、永年のご功績により、日身連会長表彰を受けられました。心よりお祝い申し上げます。

大会宣言

障害者権利条約の批准が実現した現在、ここ島根県において、全国から参加した多くの仲間とともに、第59回日本身体障害者福祉大会を盛大に開催することができた。

平成18年に障害者権利条約が国連で採択されて以降、批准に向けた国内法制の整備を着実に進めるべく、我々は、思いを一つに全力で取り組み、障害者基本法の改正、障害者総合支援法及び障害者差別解消法の成立など一定の成果を得た。そして、本年1月20日の条約批准の実現は大きな喜びとともに、障害者運動の大きな弾みとなった。

障害者権利条約の批准は、ゴールではなく、新たなスタートである。今後はさらに、条約理念に基づく障害関連のあらゆる分野が着実に施行され、障害者福祉の向上をめざさなければならぬ。

さらに、条約の根幹である「障害者の権利と尊厳の保障及び差別禁止」が、わが国の国民的、市民的合意として、社会に受け入れられるための取り組みとして、地方自治体において早期「障害者差別禁止条例制定」を要請する。

日本身体障害者団体連合会に結集する私たち障害者は、障害者権利条約

約批准を機として、全国の会員ならびに加盟団体と連携し、すべての障害者を呼応し、障害者施策のさらなる前進と、すべての障害者に対する国民的理解と合意をめざし、一致団結し行動することを誓い、ここに宣言する。

平成26年5月23日

第59回日本身体障害者福祉大会

決議

- 一、障害者権利条約にふさわしい法整備を
- 一、個人情報開示のあり方を検討せよ
- 一、全国に広げよう 障害者差別禁止条例の制定を
- 一、身体障害者相談員による相談支援の拡充を図れ

平成26年度 日身連会長表彰

宇都宮市障害者福祉会連合会副会長
栃木県身体障害者福祉会連合会監事

中村富頼氏



平成25年度 事業報告

4月	6日	栃身連女性部総会	とちぎ福祉プラザ
	6日	栃身連女性部研修会	とちぎ福祉プラザ
	13日	栃身連監事会	とちぎ福祉プラザ
	20日	栃身連理事会	とちぎ福祉プラザ
	22日	野外訓練	岩手県小岩井農場
	23日	栃木県生活福祉資金運営委員会	とちぎ福祉プラザ
	26日	栃身連評議員会	とちぎ福祉プラザ
5月	16日	栃木県生活福祉資金運営委員会	とちぎ福祉プラザ
	16日	栃木県運営適正化委員会	とちぎ福祉プラザ
	21日	栃身協理事会	とちぎ福祉プラザ
	24日	とちぎ健康福祉協会理事会	とちぎ健康の森
	27日	日身連評議員会	札幌市エルプラザ
	28日	日本身体障害者福祉大会	北海きたえーる
	27-29日	北海道研修旅行（日身連福祉大会・札幌）	北海道
6月	3日	栃身連正副会長会議	とちぎ福祉プラザ
	8日	栃身連理事会	とちぎ福祉プラザ
	14日	栃木県生活福祉資金運営委員会	とちぎ福祉プラザ
	19日	栃木県障害者文化祭運営委員会	栃木県庁昭和館
	25日	栃木県障害者スポーツ協会総会	とちぎ福祉プラザ
	27-28日	関東甲信越ブロック協議会春季団体長会議	神奈川県
	29日	栃身連女性部研修会（料理/木の実のアレンジ）	とちぎ福祉プラザ
7月	2日	栃身連理事会	とちぎ福祉プラザ
	2日	栃身連正副会長会議	とちぎ福祉プラザ
	2日	栃身連評議員会	とちぎ福祉プラザ
	2日	栃身連評議員選定委員会	とちぎ福祉プラザ
	2日	栃身協理事会	とちぎ福祉プラザ
	8日	野外訓練	福島県雄国沼
	9日	栃木県障害者社会参加推進協議会	とちぎ福祉プラザ
	17日	栃木県生活福祉資金運営委員会	とちぎ福祉プラザ
	19日	栃木県運営適正化委員会（訪問調査）	真岡市社協
	22日	栃身連正副会長会議	とちぎ福祉プラザ
8月	1日	栃身連相談員研修会	とちぎ福祉プラザ
	2日	関東甲信越ブロック相談員研修会	千葉市
	9日	県社協要望書提出会議	とちぎ福祉プラザ
	20日	栃木県生活福祉資金運営委員会	とちぎ福祉プラザ
	28日	栃木県民福祉のつどい	宇都宮市文化会館
	9月	3日	県北ブロック協議会総会
7日		関東甲信越ブロック友愛のつどい	コンセール
12日		とちぎリハビリテーションセンター運営協議会	とちぎリハビリテーションセンター
18日		栃木県生活福祉資金運営委員会	とちぎ福祉プラザ
20日		栃木県運営適正化委員会（訪問調査）	那須烏山市社協
20日		栃身連女性部研修会	とちぎ福祉プラザ
27日		栃身障がいフォーラム総会	とちぎ福祉プラザ
28日		栃身祭	県立聾学校
29日		栃木県障害者スポーツ大会	栃木県総合運動公園
10月		3日	栃身連正副会長会議
	3日	全国障害者スポーツ大会結団式	とちぎ福祉プラザ
	7日	栃身連女性部日帰り旅行	東京ディズニーシー

10月	12-14日	全国障害者スポーツ大会	東京都
	16日	栃木県生活福祉資金運営委員会	とちぎ福祉プラザ
	22日	栃木県地域福祉支援計画推進委員会	栃木県庁
	30日	真岡老人・身障スポーツ大会	真岡市民公園
11月	1-2日	栃木県障害者文化祭	とちぎ福祉プラザ
	10日	足利市民福祉大会	足利市民プラザ
	11日	県北ブロック協議会代表者会議	那珂川苑
	11日	野外訓練	群馬県渡良瀬渓谷
	14-15日	関東甲信越ブロック協議会秋季代表者会議	茨城県
	19日	栃木県生活福祉資金運営委員会	とちぎ福祉プラザ
	20日	栃木県運営適正化委員会（訪問調査）	小山市社協
	24日	栃木県障害者スポーツフェスタ	とちぎ福祉プラザ
12月	28日	栃木県特別支援学校教育振興会大会	とちぎ福祉プラザ
	10日	栃木県身体障害者福祉のつどい	とちぎ福祉プラザ
	14日	栃身連女性部研修会（料理/寄せ植え）	とちぎ福祉プラザ
1月	18日	栃木県生活福祉資金運営委員会	とちぎ福祉プラザ
	24日	栃身連幹部研修会	とちぎ福祉プラザ
	27日	賀詞交歓会	ホテル東日本
	29日	栃木県社会福祉審議会	栃木県庁昭和館
	31日	栃木県社会福祉協議会理事会	とちぎ福祉プラザ
	31日	とちぎ健康福祉協会理事会	とちぎ健康の森
	2月	3日	栃身連女性部役員会
3日		栃身連女性部研修会（リメイク缶）	とちぎ福祉プラザ
6日		栃木県障害者施策推進協議会	栃木県庁昭和館
20日		栃木県社会福祉協議会正副会長会議	とちぎ福祉プラザ
21日		栃身連理事会	とちぎ福祉プラザ
21日		栃身連正副会長会議	とちぎ福祉プラザ
21日		栃身連評議員会	とちぎ福祉プラザ
27日		栃木運輸局バリアフリーネットワーク会議	宇都宮市役所
3月	2日	日盲連 関東ブロック栃木大会	ホテルニューイタヤ
	5日	栃木県社会福祉協議会理事会	とちぎ福祉プラザ
	13日	栃木県運営適正化委員会	とちぎ福祉プラザ
	14日	栃木県生活福祉資金運営委員会	とちぎ福祉プラザ
	17日	栃木県社会福祉協議会評議員会	とちぎ福祉プラザ
	18日	日身連評議員会	東京都障害者福祉会館
	23日	栃身障がいフォーラム研修会	とちぎ健康の森
	24日	野外訓練	東京都隅田川・お台場
25日	とちぎ健康福祉協会理事会	とちぎ健康の森	

栃身連会報（4回発行）4月30日号、7月30日号、10月25日号、1月25日号

平成25年度 貸借対照表

平成26年 3月31日現在（単位：円）

I 資産の部		II 負債の部	
流動資産	3,521,731	流動負債	0
普通預金	3,521,731	固定負債	0
		負債合計	0
		III 正味財産の部	
固定資産	3,000,000	指定正味財産	0
基本財産	3,000,000	一般正味財産	6,521,731
定期預金	3,000,000	（うち基本財産への充当額）	(3,000,000)
		正味財産合計	6,521,731
資産合計	6,521,731	負債及び正味財産合計	6,521,731

役員交代

平成26年6月9日付けにて4名の理事が交代しました。

〔新理事〕

日光市 福田昇（のぼる）

大田原市 新巻康夫（あらかま やすお）

さくら市 白井新（しらい あらた）

那須烏山市 松本清（まつもと きよし）

〔旧理事〕

日光市 先崎昭英（のぶあき てるひさ）

大田原市 及川利雄（あがわ りしゆ）

さくら市 金子豊一（かねこ とよかず）

那須烏山市 岡崎一良（おかざき ひとよし）

（敬称略）

旧理事におかれましては、長年にわたり、ご尽力を賜り心よりお礼申し上げます。

地域福祉会だより

さくら市身体障害者福祉会

会長 白井新

さくら市は平成17年3月、氏家町と喜連川町の2町が合併して誕生しました。

私は平成26年5月の総会において、さくら市身体障害者福祉会4代目の会長に就任しました。

まず、さくら市において新たな観光スポットになっている「ポピー畑」の紹介をしたいと思います。

さくら市早乙女の荒川右岸に広がる約1.5ヘクタールの畑にはシャレーポピーなど、約300万本のポピーが植えられ、無料開放されています。

このポピー畑の事業を始めた動機というのが、福祉会は地域社会に支えられて活動ができる、地域に何か貢献できることはないかと会員に諮り、当時の旧喜連川町身体障害福祉会の秋元和男会長が中心となり、もとは荒地だったこの土地を整地して見事なポピー畑を作りました。

今年で16年になりますが、現在は「きつれ川ポピー畑管理委員会」

に引き継がれ、地元のボランティア約60人が管理しています。

ポピー畑に尽力してきた、さくら市身体障害者福祉会の初代会長でもある秋元和男さんは、管理委員会の副委員長として、当時から身障会員とともに今も元気にボランティア活動をしています。

自然が相手なので管理が大変で特に雑草対策が一番骨が折れることですが、先達者の苦勞が実り、毎年一面に染まる真っ赤なポピー畑を楽しみにたくさんの人が訪れるようになりました。

花のシーズンは約1ヶ月あります。



ですが、県内外から訪れるお客様のために、会員が日替わりで『おもてなしの心』で接待しています。

今年5月31日と6月1日に「ポピー祭り」が開催され、一万二千名もの来場者がありました。

その他の活動として、私たちの福祉会ではスポーツが盛んです。グラウンド・ゴルフ大会が年4〜5回、ソフトペタンク大会も年4〜5回開催しています。

グラウンド・ゴルフの練習会には参加を呼びかけ、スポーツをとおして交流が広がり、福祉会入会のきっかけになっています。

